

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 102-8081

住 所 東京都千代田区九段南1-1-10 九段合同庁舎

氏 名 国家公務員共済組合連合会

理事長 松元 崇

印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	国家公務員共済組合連合会		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市高津区梶ヶ谷1-3-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	一般病院		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,907	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担 当 部 署 名	
		所 在 地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019 年度 ~ 2021 年度 (報告年度 2021 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度 (2018 年度)	第1年度 (2019 年度)	第2年度 (2020 年度)	第3年度 (2021 年度)	目標排出量
排出量 (t-CO2)	(実) 3,617 (調) 3,569	(実) 3,620 (調) 3,570	(実) 3,675 (調) 3,456	(実) 3,359 (調) 3,125	(実) 3,622 (調) 3,574
削減率		(実) -0.1 % (調) 0.0 %	(実) -1.6 % (調) 3.2 %	(実) 7.1 % (調) 12.4 %	(実) -0.1 % (調) -0.1 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量	基準年度 (2018 年度)	第1年度 (2019 年度)	第2年度 (2020 年度)	第3年度 (2021 年度)	目標とした値
排出量原単位等の値					
活動量の値					-
排出量原単位等の削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	<p>照明のLED化により年間約9t-co2/年の削減を行った。 今まで使用していない区域を使用するようになりエネルギーの使用量は増加となった。 電気事業者の排出係数が約1.5%減少したことによりCO2排出量が減少となった。 そのため全体のCO2排出量は基準年と比較して年間0.1%の増加となった。</p>	
第2年度	<p>CO2排出量は基準年度比で年間1.6%の増加となった。増加の主な要因として、コージェネレーションシステムの故障による影響で、都市ガス使用量は基準年度比で約18%減少したものの、電気使用量が基準年度比で約20%の増加となったこと、また、電力会社の変更により、実排出係数が0.468t-CO2/千kWhから0.481t-CO2/千kWhとなったことが挙げられる。一方で、蒸気ボイラーのスチームトラップの更新を行い、年間約9t-CO2/年の削減を行った。</p>	
第3年度	<p>照明のLED化により年間約26t-co2/年の削減を行った。 CGSが故障により都市ガスの使用量が前年度より558.07m³低下し、電気の使用量が前年度より60.94kWh増加した。電力会社の排出係数が前年度と比較し14%低下したことにより全体のCO2排出係数は基準年と比較し7.1%の削減となった。</p>	
<p>計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>		<p>削減計画を実施したことにより4.4t-co2/年の削減を行った。 今まで使用していない区域を使用することになりエネルギーの使用量は増加となった。 その結果、最終的に全体のCO2排出量は基準年と比較して年間0.1%の増加となった。</p>
<p>上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)</p>		<p>2021年度にCGSを廃止したことにより電力量が増加した。次回の計画では電力削減を行いCO2排出量の削減につなげたい</p>

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>○照明設備の運用管理 蛍光灯タイプの照明器具をLEDへと更新する。</p> <p>○スチームトラップの保安全管理 スチームトラップをメンテナンスすることにより上記の無駄を減らす。</p>
<p>第1年度</p>	<p>○照明設備の運用管理 蛍光灯タイプの照明器具をLEDへと更新し、年間約9t-co2/年の削減を行った。</p>
<p>第2年度</p>	<p>○スチームトラップの保安全管理 スチームトラップをメンテナンスすることにより蒸気は無駄を減らした。</p>
<p>第3年度</p>	<p>○照明設備の運用管理 蛍光灯タイプの照明器具をLEDへと更新し、年間約26t-co2/年の削減を行った。</p>
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	○
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	無し

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内の木々の維持管理を行う。 病院敷地内の木々を年間を通して植木屋に定期メンテナンスを依頼し維持管理を行う。 ・廃棄物の分別化の推進を図る。 可燃、不燃、資源、感染性廃棄物、産業廃棄物を病院内にて分別を行う。 廃棄物回収の際には廃棄元がわかるようにし、一箇所に収集を行い 廃棄物の種類により分別を行う。
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内の木々の維持管理を行った。 病院敷地内の木々を年間を通して植木屋に定期メンテナンスを依頼し維持管理を行った。 ・廃棄物の分別化の推進を図った。 可燃、不燃、資源、感染性廃棄物、産業廃棄物を病院内にて分別を行った。 廃棄物回収の際には廃棄元がわかるようにし、一箇所に収集を行い 廃棄物の種類により分別を行った。
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内の木々の維持管理を行った。 病院敷地内の木々を年間を通して植木屋に定期メンテナンスを依頼し維持管理を行った。 ・廃棄物の分別化の推進を図った。 可燃、不燃、資源、感染性廃棄物、産業廃棄物を病院内にて分別を行った。 廃棄物回収の際には廃棄元がわかるようにし、一箇所に収集を行い 廃棄物の種類により分別を行った。
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内の木々の維持管理を行った。 病院敷地内の木々を年間を通して植木屋に定期メンテナンスを依頼し維持管理を行った。 ・廃棄物の分別化の推進を図った。 可燃、不燃、資源、感染性廃棄物、産業廃棄物を病院内にて分別を行った。 廃棄物回収の際には廃棄元がわかるようにし、一箇所に収集を行い 廃棄物の種類により分別を行った。

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源CO ₂ 排出量	3,617 t-CO ₂	3,620 t-CO ₂	3,675 t-CO ₂	3,359 t-CO ₂
原油換算エネルギー使用量	1,880 KL	1,896 KL	1,896 KL	1,907 KL
事業所の数	1	1	1	1

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
虎の門病院分院	神奈川県川崎市裾ヶ谷1-3-1	3,617	3,620	3,675	3,359

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度